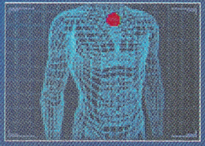
STORY 1-5

手術No04

哀愁の歌うたい

患者 庭野雅志

TIME LIMIT 05:00:00



気管部に発生した5つのポリープ群をすべて焼却。ただし、精密な処置が必要となるため、スキャナを使用し、患部を拡大してから処置を開始する。拡大後は出血によってできた血だまりをドレーンで吸引し、術野を確保してからレーザー処置を行なう。焼却後はヒールゼリーでレーザー痕の治療をすること。

1 スキャナで出血部分の拡大

スキャナを手にして出血部分を○で囲むと拡大できる。拡大を解除するには、もう一度術野を囲むと通常の比率に戻る。

2 ドレーンで血液を吸引

3 レーザーでポリープを焼却

焼却中に出血がはじまったら、ドレーンで血液を吸引し、ヒールゼリーでレーザー痕の治療をしよう。

4 スキャナで術野の拡大解除

拡大解除後は気管内の別の出血部分を拡大し、2、3の処置を行なっていく。



1
出血部分付近をスキャナで囲むと患部が拡大。患部を囲むように大きな○を描く必要はない。



2
血液をドレーンで吸引し術野を確保してからでないと、レーザーでのポリープ焼却に入れない。



3a
OK!がでるまでポリープにレーザーを照射し続け、焼却完了後にはヒールゼリーを塗ること。



3b
治療痕から出血がはじまって血だまりができてしまったら、ドレーンで血液を吸引し、術野を確保。



4
施術が終了したあとは再びスキャナを手に取り、術野上に○を描いて拡大を解除しよう。

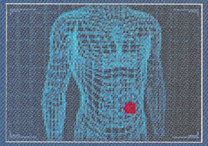
STORY 1-6

手術No05

医師の資格

患者 西峰勝夫

TIME LIMIT 05:00:00



小腸に発生した4つの腫瘍をポーウエル法を用いて切除、摘出をする。なお、腸間膜全体に炎症が見られるため、腫瘍摘出まえに消炎剤にて炎症を沈静化させること。

1 注射器で消炎剤を炎症部分に投与

2 スキャナで腫瘍の影を見つける

3 影をメスで切開

4 ドレーンで組織液を吸引

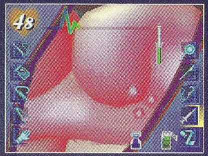
5 メスで腫瘍を切開

6 ピンセットで腫瘍を摘出

7 ピンセットで切除痕に人工膜を移植

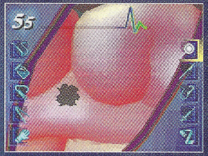
8 ヒールザリーと手で人工膜を定着させる

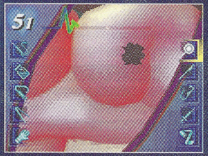
腫瘍は全部で4つあるので、ひとつの腫瘍に対し2～8の処置を行なう。なお、手術に慣れてきたのであれば、さきに影を4つ切開したあと、吸引4回、腫瘍切除4回、摘出4回……と、4つの腫瘍を同時進行で処置するのもいいだろう。

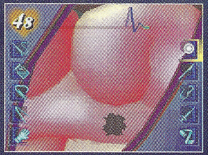


1
バイタルの低下が激しくなっている。処置の合間に回復剤の投与をするクセをつけておこう。









2
写真の4ヵ所に影はある。スキャナを使わなくても影の場所にメスを入れれば切開可能だ。